

2010年11月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

http://www.library.city.nagoya.jp/

～読書でふくらむ子どもの夢～

ごちやうと

サ！ トロカガ ダッダッ



「新人司書(十α)のオススメ本！」も紹介♪

『ふたりの距離の概算』

米澤穂信／著 角川書店

古典部に、新入生の大日向友子が仮入部してきた。ところが、突然、彼女は入部の辞退を告げる。折木奉太郎は、20キロのマラソンを走りながら、彼女の心変わりを推理する。古典部シリーズ第5弾。(七)



(C)角川書店

『市立第二中学校2年C組』

10月19日月曜日』

柳月美智子／著 講談社

ある一日の、生徒38人と教師1人の一瞬が切り取られ、時間の流れに沿って並べられる。読み進むうちに、ひとりひとりの事情、渦巻く人間模様が鮮やかに浮かび上がり、今日とは少し違った明日の予兆が見えてくる。(夏)



新

刊

案

内

『スカット』

カール・ハイアセン／著 理論社

校外学習で出かけた湿地で、先生が失踪した。「家族の事情」だと連絡はあったが、先生に家族はいない。

裏に絡んでいるのは、放火歴のある問題児？石油の不法掘削をたくらむ会社？それとも、先生の甥を名乗る男…？(夜)



『食品サンプルの作りかた、教えます。』

今井規雄／著 新星出版社

そのリアルっぷりに国内のみならず海外からの注目も熱い「食品サンプル」。なんとそれが自宅で作れちゃう！好きなものを作って飾ったり、ミニサイズをストラップにしたり。実際の料理よりもはまっちゃう人もいるかも？(弓)

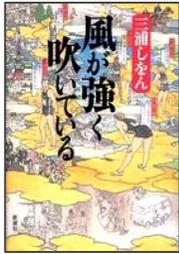


編集後記 ⊗伊豆で動物とたわむれてきました。アルマジロの背中に指をはさまれるという稀有な体験もしました。(弓) ⊗自宅のテレビを買い替えました。これでようやくウチも地デジ化です。(忍) ⊗かつてここまで原稿が集まらなかったことがあるだろうか！(反語) 編集のお2人、ごめんなさい。(夜) ⊗「人間は考える葦である」とパスカルは言った。考える秋。(七) ⊗草むしりさぼってたら、庭の松の木がつる草に引き倒されそうになった。自然っておそろしー！(夏) ⊗髪がすぐのびる。やはりおれはエロいのだろうか。(生)



新人司書(+α)のオススメ本！

「ごちゃっと」の編集担当以外の人にも本を紹介してもらおう！
というわけで、新人司書(+α)に突撃取材しちゃいました。
採用1年め、2年め(+20代1名)の司書、あわせて
9人のオススメ本、よさげな本があったら読んでみて。



風が強く吹いている 三浦しをん/著 新潮社

「箱根駅伝をめざす！」清瀬灰次(通称ハイジ)の野望に巻き込まれ、竹青荘の個性あふれる住人たち(ほぼ陸上経験ナシ)の無謀な挑戦が始まった！「走る」という行為を通して自分を見つめ、成長してゆくメンバーの姿に思わずホロリ。今年の正月は駅伝を見よう(TVでね☆)(わさび)

小説ワンダフルライフ 是枝裕和/著 早川書房

天国の入り口で「あなたの人生の中から大切な思い出をひとつだけ選んでください」と言われたら？ 人生最良の思い出を選ぶために、死者たちは自分の一生をふりかえる。選んだ思い出は映画になり、上映会が開かれる。わたしがこの映画を見た10代のときにはすぐに選べた思い出も、近ごろは…。映画を監督自身が小説化。(秋)

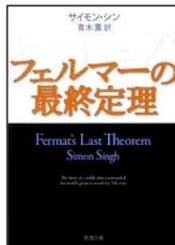


死にカタログ 寄藤文平/著 大和書房

死んだら→近所の島に行く、という考え方にド肝を抜かれました。いろんな時代の、いろんな人たちが考えた、いろんな死のかたち。みんなどうせいつか死ぬ、死んだあとの世界のことなんて誰にもわからない。だったら自由に、どうせなら前向きに、死について考えてみるのもいいかも。重いテーマなのに、読むと心がなごみます。(ほっぺこ)

フェルマーの最終定理 サイモン・シン/著 新潮社

「 $x^n+y^n=z^n$ は、 $n=3$ 以上の整数では成立しない」発表されてから360年もの間、誰も証明できなかったフェルマーの最終定理は、いかにして証明されたのか。数学に魂をまなげた熱き数学者たちの物語。無味乾燥に見える定理や公式も、発見した人たちのことを知ると、また違って見えてくるかも？ (N)



崖っぷちに立つあなたへ 落合恵子/著 岩波ジュニア新書
著者は作家でもあり、子どもの本の専門店の主宰などでも活躍中。「いのちまでかけて、学校に行くことはないの いまは」生い立ちゆえにさまざまな壁を乗り越えてきた落合さんが、いまを生きるあなたに伝えたいメッセージ。(しずく)

日傘のお兄さん 豊島ミホ/著 新潮社

10年以上の時を経て、思い出の島根から東京の自宅に突然現れた、幼なじみのお兄さん。ネットで話題のロリコン男になっていても、夏実は迷わずお兄さんの手をとって、楽しく逃避行へ繰り出す。「だいあき!!」って気持ちのポジティブさ全開で、読むと元気になれるちゃう。おまけにちよっぴりせつない、ひと夏の物語。(なっちゃん)



本格折り紙～入門から上級まで 前川淳/著 日貿出版社

「折り紙なんて小学生がやるもの、ダサい」なんて思っていない？ そう思ってる人はこの本を見てみなよ！「すごっ！自分でつくってみたい！」と思うはず。かわいいペンギン、本物そっくりの馬や超高難度の悪魔など、見るだけでも楽しいぞ。折り紙は才能よりも根気！できたときの達成感とは本格級！(カド)

ブラック・ジャック 手塚治虫/著 講談社ほか

医師免許をもたない謎の医師、ブラック・ジャックの治療費は超高額！だけど、世界も驚く腕前で、さまざまな人の命を救うの高1のころ、なかなかクラスになじめなくて、放課のたびに図書館に入り浸って読んでた本。ブラック・ジャック先生とピノコのかけあいがおもしろいよー(*^^*) (千雪)



十七歳の地図 橋口譲二/著 文芸春秋

北海道から沖縄まで、著者が行く先々で偶然出会った17歳、102人のポートレートとインタビューをまとめた写真集。人生のある一時期にしか持ちえないさまざまな感情が、写真からも文章からもまっすぐに伝わってくる。10年後の彼らに再度インタビューを試みた『17歳の軌跡』という続編もあります。(mt)

ガイトロコカマダツコ

それは、午後の一言から始まった。

弓:名古屋市図書館21館、一日でどれだけ回れるか試してみたくない?

夜:やりたい!

夏:楽しそうだね。ついでに、近くのお店を探検したい♪

七:はあ?やるなら、全館制覇狙うでしょ。当然、昼ヌキ!!

夏・夜:ええ〜!

生:ま、まあ、みんな一緒に回らなくてもいいんじゃない?ペア組んで競ってもいいし。

夜:七さんと一緒に絶対やだ!

弓:はいはい。ペア組んであげるから。

夏:じゃあ、七さん、弓さん夜さんペアと夏の3組でいい?(←やっぱり昼ヌキは嫌)

七:え、生さんと忍さんは?

忍:あの、2人で残りの原稿引き受けますから。みなさんで行ってきてください。(他にもページがあること忘れてるな、この人たち…)

そして、ぼくらは旅に出た。

ある秋晴れの日曜日、こうしてぼくらは駆け出した。

片手に自由への切符を握りしめて。

人は問うだろう、「何のために?」と。

この衝動に理由なんていない。

「無意味に思えることこそが、人生を豊かにする」

と、多分どこかで誰かが言っていた。

しいて理由を挙げるならば…、そう、

「図書館が好きだから」。

というわけで、みんなで図書館に行きまくってきました。

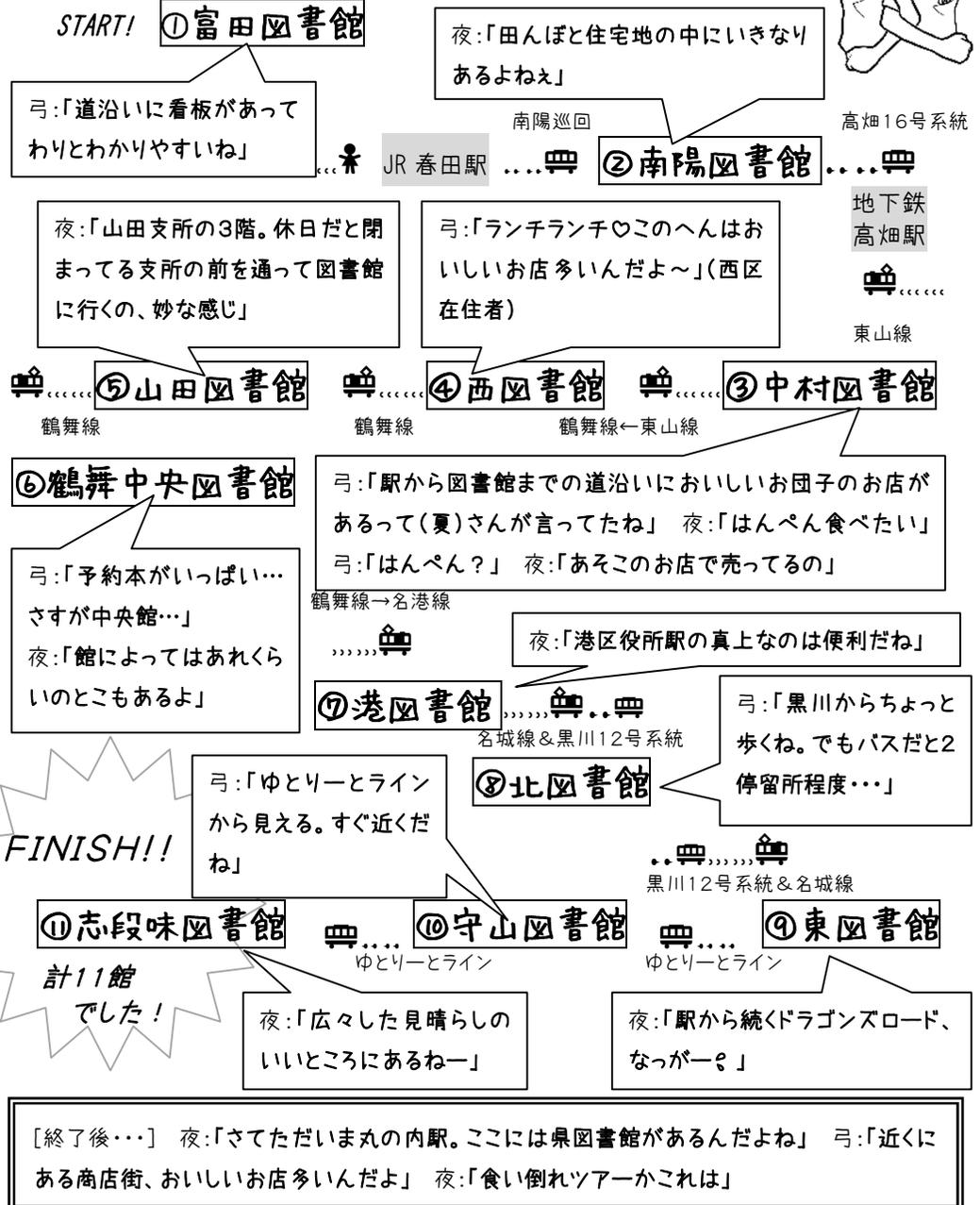
使用できるのは、公共交通機関と己の肉体のみ(ただし、竹馬は可)。

それでも、1日あると、意外にあちこち行けるみたい。

「読みたかった本が、今、あの図書館に!ああ、予約で届くまでが待ちきれない!」なんてとき、そこまで足を伸ばしちゃうのも手かも?

それでは、実際どれだけ回れるのか。3組のレポートをどうぞ!

弓:「前に私が(夜)さんの勤務館に行こうとして道に迷った時さ」夜:「同じ日に私は(弓)さんの勤務館に行こうとして道に迷ってたんだよね」弓:「方向音痴グループだねこの組み合わせ。キケンかな」夜:「(弓)さんとこがわかりにくいんだもん」弓:「(夜)さんとこだって相当だったよ!!」



トショカンダッシュ13館のたたかいのキロク

10月×日の日曜日。トショカンダッシュの日。5時起床。5時に起きる必要も無いけど起きる。前日の天気予報では、雨の予報だったけど、いい天気。日頃の行いがいいせいかな。

僕は20の館以上の図書館に行ったことがあり、そのメンツにかけても、負けるわけにはいかないね。でも、ただ行くだけでいいの？。図書館は資料を利用するところ。なので、行って、本を借りて、移動中に読んで、本を返して、借りて…。では、スタート！。

スタートは、**志段味図書館**。10時開館を待つ。中高生の人たちが、たくさん待っているね。『**寺山修司詩集**』（寺山修司／著、角川春樹事務所）を借りる。この中の「グッドバイ」という詩に、「そらだ A列車で行こう それがだめなら走って行こう」とある。バスや地下鉄が来なかったら、走っていくのだ。寺山修司は、演劇、映画、短歌、俳句、詩、評論などさまざまな分野で活躍した人。本もいろいろあるので、いつか読んでみてね。

上島10時9分発のゆとりーとラインに乗って、守山10時24分着。**守山図書館**へ。図書館の前に、「守山市役所」の碑が建っているよ。昔は、守山市だったんだね。ここでは、絵本の『**ぶたのたね**』（佐々木マキ／作・絵、絵本館）を借りる。かわいい絵。佐々木マキさんは、何十年前は、マンガを描いていた人。1970年の『佐々木マキ作品集』（青林堂）が鶴舞中央図書館の書庫にあるよ。

ゆとりーとライン守山発10時34分発で、ナゴヤドーム前矢田10時38分着。**東図書館**はすぐだよ。生物多様性の本が集めてあるコーナーがあった。そこから、『**死を食べる**』（宮崎学／著、偕成社）を借りる。動物写真家の宮崎学さんの写真集で、死んだキツネが自然に帰っていくまでを追う。いろんな他の生き物が食べていく。今日、トショカンダッシュが終わったら、肉を食べようと思うけど、それも「死を食べる」ってことだね。

ナゴヤドーム前矢田10時52分発の地下鉄で、本山10時59分着。乗り換え、11時6分発で、東山公園11時8分着。東山動物園に行く人が多いなあ。**千種図書館**まで歩いていく。コンパクトなティーンズコーナーがあるよ。ここから、『**わかもとの知恵**』（筒井康隆／著、金の星社）を借りる。「あらった犬の体をはやくかわかす知恵」などの楽しい知恵が載っている。「図書館をたくさんめぐる知恵」は、載っていないなあ。

星が丘まで歩いて、星が丘発11時35分発で、上社11時39分着。11時45分発のバス上社11に乗って、名東図書館11時56分着。**名東図書館**にも小さなティーンズコーナーがあるね。『**ごちゃっと**』でも紹介された『**男子**』（梅佳代／著、ウルモア）を借りてみるよ。笑える。木村伊兵衛写真賞という新人賞をとった写真家さん。

名東図書館12時6分発のバス上社11で、上社着12時17分。12時28分発で、今池12時41分着。乗り換え、12時44分発で、桜山12時49分着。博物館の前を通過して、**瑞穂図書館**へ。古い図書館だね。ティーンズコーナーで、『**アホウリの糞でできた国**』（古田靖／文、アスペクト）を借りる。イラストがかわいい、ナウル共和国を紹介する本。税金はゼロ、学校・病院はタダ、国民は誰も働かなかった国。最近、国家についてのニュースがよく流れているけど、国ってなんだろうね。

桜山13時9分発で、新瑞橋13時14分着。乗り換えて、13時22分発で、堀田13時24分着。13時29分発のバス基幹1で、千電通2丁目13時32分着で、**南図書館**へ。児童コーナーの新刊コーナーにあった『**神様の階段**』（今森光彦／著、偕成社）を借りたよ。今森光彦さんは、里山の写真で有名な写真家。この本は、インドネシアの棚田の写真。「神様の階段」って、すてきな表現だね。棚田とは、傾斜地に作られた棚状の田。日本にもあって、きれいだけど、耕す人はたいへんだらう。

千電通2丁目13時49分発の基幹1で、堀田13時54分着。地下鉄に乗り換え、14時4分発で、神宮西14時8分着。歩いて、**熱田図書館**へ。『**ズーム**』（イシュトバン・バンニャイ／著、ブッキング）。にわとりのトサカから宇宙までズームアウトする不思議な絵本。ものごとをみる視点を、たまには変えてみてみるのもいいかも。

神宮西に戻って、14時28分発で、金山14時32分着。乗り換えて、14時40分発で、港区役所14時48分着。**港図書館**はすぐだよ。『**ドラえもん**』（藤子・F・不二雄／著、小学館）の3巻を借りる。1974年が初版、36年前、みんなの生まれるずっと前だね。

港区役所14時59分発で、上前津15時11分着。乗り換え、15時17分発で、鶴舞15時18分着。**鶴舞中央図書館**へ。ここでは本を借りるのは1回休み。

鶴舞15時35分発で、浄心15時46分着。**西図書館**。名古屋城コーナーがあって、そこから『**愛知の城**』（山田柁之／著、山田柁之）を借りたよ。こんなにたくさん城が、君の家の近くにもあるかも。

浄心16時6分発で、上小田井16時13分着。**山田図書館**。ここにもティーンズコーナーができたよ。『**18歳のハローワーク**』（18歳のハローワーク制作プロジェクト／編著、ゴマブックス）を借りた。僕も18歳に戻りたい。

もう時間が残り少ないけど、がんばる。小田井16時35分発の東海交通事業城北線に乗って、比良16時38分着。**楠図書館**には、けっこう離れている。早足で歩いていくけど、なかなか着かない。最後は走って、なんとか17時に間に合った。汗だらだら。ここは最後の図書館なので、ここで借りた本は持って帰る。ティーンズコーナーにあった『**きみが見つかる物語 不思議な話編**』（角川書店 2010）を借りた。このシリーズは、「恋愛編」「放課後編」「切ない話編」などいろいろあるよ。

17時で図書館はおしまい。トショカンダッシュもおしまい。行けたのは13館、勝てたかなあ～？。(七)

10月のある日曜日、職場の Nさんと二人で、図書館ダッシュに挑戦！ほかの若者たちは気合い入ってるけど、私たちはのんびりまわりましょ。なんたって、私たち、二人あわせると、年齢100！！ですから…。

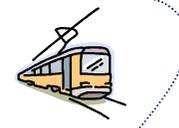
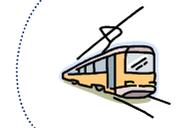
② **名東図書館**



レファレンスカウンターの館長さん。調べ物の相談にのってくれます。貸出カウンターの中には青いエプロンの人たちが7~8人いて貸出や、予約本を整理していました。

① **千種図書館**

東山動物園と星ヶ丘の真ん中、自然と都会の両方が楽しめる街の図書館。ティーンズコーナーもあるよ。



④ **徳重図書館**

一番新しくてぴかぴかの徳重図書館。ティーンズコーナーが2か所もある！屋上庭園は見晴らしが良く、図書館帰りのお客さんがベンチでくつろいでました。

③ **瑞穂図書館**

図書館案内のすてきなリーフレットGET！ティーンズコーナーで、前から気になってた動物の顔の写真集借りちゃった。



バス、乗り間違えた！のんびり、次のバスを待とう…

⑤ **緑図書館**

学習室へ続く階段の壁にずらりと貼られた本の紹介ポップ！ティーンズコーナーはないけど、情報提供では負けないぞっていうパワーを感じました。窓の外で、ゴーヤのカーテンが風にそよびました。



この日の収穫は、この5冊。

各図書館の皆さま、忙しい日曜日に、見どころ案内していただき、ありがとうございました。(夏)